

PRESS RELEASE プレスリリース

## 所沢ビエンナーレ「引込線」2011

Tokorozawa Biennial of Contemporary Art SIDING RAIL ROAD 2011

関係各位

この度の東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧と復興を心よりお祈りいたします。この度、埼玉県所沢市において地域に根ざした美術展【所沢ビエンナーレ「引込線」2011】を開催致します。つきましては、プレスリリースをお送り致しますので、ご周知にご協力頂けますようお願い申し上げます。



本展は、作家主導による手作りの展覧会として2008年にスタートしました。今回文化庁主催事業となり組織は変わりましたが、その目的である「作家、批評家、観者による交通の〈場〉を形成し、次世代が育つ現場であること」は変わりません。20代から60代の作家30名と20名の執筆者が参加し、この重苦しい時代の空気と立ち向かう事になります。

今回は、会場が変わり表記の二会場となります。又、作家の選考方法が実行委員会の合議制から、四人の作家（伊藤誠、海老塚耕一、遠藤利克、岡崎乾二郎）それぞれの責任選考となりました。これによってより明確な視点が露になることでしょう。もちろんこの四つの視点が時代を代表するものではありませんし、各人向かう方向も異なっています。しかし、この選考方法により出品される作品群において形成される座標軸は、一つのモデルとして機能すると考えます。

3月11日以降、時代感覚や世代の感性という括りでもとらえられ内向化・差別化してきた表現や批評は移動を余儀なくされるでしょう。美術は単に精神分析の対象ではありません。メデュウムの歴史性、神話性との格闘であり新たな構築への探求です。

人、物、記憶、固定化した場というプレートも移動し、多くの人々があの世へと移動させられました。この事態は、根源性や普遍性を唱えた者達や絵画、彫刻の自明性を信じる者達にも新たな関係性の構築を強いるでしょう。神聖な〈場〉は、視線の凝集した結晶個体＝作品が〈ここ〉と示す役割を負っていますが、結晶個体は安定したものではありません。融解したのか流失したのか、今、行方不明になっています。その断片でも本展に於いて発見できればと考えます。（文責／戸谷成雄）

### 【展覧会情報】

会期：2011年8月27日[土]～9月18日[日]：20日間

休場日：2011年8月31日[水]、9月7日[水]、9月12日[月]

開場時間：10時～17時

開催地：＜第一会場＞所沢市生涯学習推進センター（埼玉県所沢市並木 6-4-1）

※西武新宿線「航空公園」東口より徒歩約 15 分 <http://www.tokorogaku.jp>

西武バス亭 1 番乗り場より航空公園駅～文化センターミュウズ前下車徒歩 5 分

＜第二会場＞旧所沢市立第 2 学校給食センター（埼玉県所沢市中富 1862-1）

※第二会場へは第一会場より徒歩 15 分、第一会場受付にてお聞き下さい。

入場料：無料

主催：文化庁 <http://www.bunka.go.jp>、財団法人所沢市文化振興事業団、所沢ビエンナーレ実行委員会

助成：公益法人朝日新聞文化財団 <http://asahizaidan.or.jp>、武蔵野美術大学 <http://www.musabi.ac.jp>

協力：埼玉県立近代美術館

後援：所沢市、所沢市教育委員会、日本大学芸術学部、多摩美術大学

### 【参加作家】

＜展覧会出品作家＞：伊藤誠、海老塚耕一、遠藤利克、岡崎乾二郎、荻野僚介、利部志穂、清岡正彦、佐藤万絵子、篠崎英介、鈴木繭子、高見澤文雄、田中七星、タムラサトル、鶴崎いづみ、戸谷成雄、富井大裕、中崎透、中山正樹、西浜琢磨、橋本聡、フジモトアヤ、前野智彦、水谷一、ミルク倉庫、箕輪亜希子、山下香里、山路紘子、横山裕一、吉雄介、渡辺望 以上 30 名

＜執筆者＞：荒川徹、石崎尚、石川卓磨、井上幸治、岡崎乾二郎、沢山遼、高嶋晋一、谷新、中井悠、中林和雄、中村英樹、成相肇、西村智弘、早見堯、平井亮一、前嵩西一馬、松浦寿夫、松本透、峯村敏明、森啓輔 以上 20 名

### 【会期中の主なイベント】

＜シンポジウム＞

日時：9 月 3 日（土）14 時 15 分～17 時

会場：第 1 会場：生涯学習推進センター/201 学習室

パネリスト：伊藤誠、海老塚耕一、遠藤利克、岡崎乾二郎

司会：戸谷成雄

＜パフォーマンス 1＞

「サウンド・エンカウンター（音との出会い）」

出演：多田正美 Web: TADA-MASAMI.COM <http://tada-masami.com/>

[VOL.1] 日時：9 月 3 日（土）13 時～14 時

会場：第 1 会場（生涯学習推進センター）鑑賞無料

[VOL.2] 日時：9 月 4 日（日）13 時～15 時

第 2 会場（旧第 2 給食センター）鑑賞無料

＜パフォーマンス 2＞

「給食テクノ」

出演：利部志穂、皮(SONTON) Web: KAGABU.COM <http://www.kagabu.com/>

日時：9 月 10 日（土）15～17 時

会場：第 2 展示会場内（旧第 2 給食センター）鑑賞無料

<展示見学ツアー>

日時：[A] 9月4日（日）15時～17時 [B] 9月11日（日）15時～17時

会場：展示会場内（予約不要、参加費無料）

内容：作品見学、作家インタビュー（指導／県立近代美術館スタッフ）

<ワークショップ>

日時：9月11日（日）13時～16時

会場：第1会場内：102学習室

タイトル：「100gをつくる」

内容：カラーブロックを使って色と形を計る

対象：20人（小学4～6生対象保護者同伴）

申し込み：所沢市社会教育課（電話：04-2998-9242）

参加費：500円（材料実費＋レク保険料）

指導者：タムラサトル

Web: SATORU TAMURA <http://www.lares.dti.ne.jp/~mm25/tamura/>

<公開制作>

日時：8月27日（土）～9月18日（日）＊8月31日（水）9月7日（水）12日（月）はお休み。

木彫制作（山本麻璃絵）見学自由 ＊制作は不定期で行われます。

会場：第1会場（所沢生涯学習推進センター）体育館脇

【所沢ビエンナーレ実行委員会】

実行委員長：中山正樹

副委員長：伊藤誠、遠藤利克、戸谷成雄

実行委員：海老塚耕一、岡崎乾二郎、高見澤文雄、富井大裕、水谷一

事務局：〒359-0006 埼玉県所沢市所沢新町 2517-8

所沢ビエンナーレ実行委員会事務局 中山正樹

-----  
是非この機会に、貴メディアにてご紹介下さりますようお願い申し上げます。掲載用画像のご依頼、取材のご依頼、その他本展についてのお問い合わせは以下連絡先までメールかお電話いただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

担当：中山正樹、戸谷成雄、水谷一 tel：080-3537-3021

sidingrailroad@gmail.com <http://tokorozawa-biennial.com>